別紙参照用　コメント

良かったところ	改善点（運営全体・自身の両方）	その他感想
・各チャプターのコアメンバーと座談話せたこと（お会いしたことがない方が？名いる） ・自チャプターの問題点を共有でき、解決策を見出せたこと（特に、コアメンバーの育成、校友への情報共有方法） ・できたての他チャプターに現在のauチャプターの状況を共有できたこと ・他チャプターと連携の成功できたこと ・事務局長とコンタクト取れたこと ・APUの現状が知れたこと ・情報になったら自身が主体的にする動きになったこと（特に予算、予算項目について） ・ミーティング、懇親会にて５年のC友人に会えたこと（熊本いるなど知らなかった）	目標 ・校友会の仕組みやルールについて知識不足であること ・もう少し積極的に意見交換をすべきであった 運営全体 ・私のみ？話すではなく、ボードメンバーも意見を出しても ・質疑応答の少なさ ・２日目のお昼も計画の当たり入れておいても良いかなと思った （わからん、参加者希望制で）	・今会は、熊本チャプターの初参加や他チャプターからも初耳の方が多かれ、 いろいろな意見を聞くことができ、大変参考になりました。 自身チャプターの強みと弱みを見つめ直し、どう改善するか指標ができました。
【事前準備について】 前番チャプターの皆様が多く、問題なく進行したと思います。 事前準備に必要な資料作成の時間なども充分とられていました。 宿泊予約や交通手配は各自でおいましたが、特に問題点がありませんでした。 【運営進行について】 事前のレジやりとりやスプシ・グループ資料の準備。 適切な司会で時間通りに進行したと思います。 【議題について】 必要な議題は網羅されていたと思います。 【懇親会について】 盛りかがしつつ、なごやかな雰囲気で時間通り終了したと思います。 今回はメモは、ゆっくりの食立ごみんなが引いる雰囲気で楽ではなく緊張感もあったと思います。 たた初対面の人は戸惑っていた様子でした。 会議進行や、時間ないように、盛りだすぎないように。 いたかがしかが時間ていたのは良くなかったと思います。 【タイムテーブルについて】 がいな時刻に問っていなかったと思います。 重要度の高い議案を時間内に納められたので、問題ないと思います。	【今回の課題】 特に問題点など思った事はありませんでした。 【今後の課題・期待すること】 このチャプターでも特ている課題の一つに複層者問題があります。 BLM以下オペレーションの高い校友が集えて議論するので、 それだけの校友もオプザーバーとして参加してたが集て、 最低の高い人材の育成に役立てられないかと思います。	【全体所感】 熊本のCLM交流会を踏まえての規模で行ったMTGでしたが、正解だったと思います。 ひとつの机を囲って、全員が参加できる会議として度良い人数だったのではないでしょうか。 今後参加人数が増えていく事も予想されますが、 他クラひとつのテーブル？かんなで話しができるのが良いと思いました。 あとは、広い、かい雰囲気が議論の活性化に繋がっていると思います。 発言しない人にも意見を促すよう、参加者自身がアクションしていくのも大切だと思いました。
2.私とが感じ方において、他チャプターのスタンスが知れたこと。 →当然地域的があるので連携に対かが合わせられないがその前にAPU側全体の意見を知りたことは非常に大きい。またチャプター内でそれぞいを話し合っていました。 ②チャプター全体としての足並み・立ち位状況把握(情報収集)・行動基準が揃ってきた →全て統一させりは良いい方々ではない、個が前に進むために(APU校友会活動を活発にしていく為に)必要なベースが揃ってきた仏と感じました。予算関係や合同イベント、各地の校友発掘等が新しい校友会立ち上げに向けて個のコミュニケーションの流れがスムーズに行く仕組みます。 ③次期校友会長のベルアップ →次期の校友会長として貢献を持って、また関のリーダー格と接することによって、「しっかりやらなければ」という気持ちが芽生えるき事に繋がりました。今後はそれぞれの役割を明確にし、チャプター会活性化へ繋げて行ご欠思います。具体的には１期生を始めとした年上のキープ下あると言えます。	①個の校友へもっと役割を振る →今は世界の情報ではほとんどの活動へ新く興味的繋げ、以前はどうされ言えば僕や中心ど人集めをやっていたために最近は参加者が少なくまた積極にある。だかど言って自分の仕事を絶ち手事も難しいので、今後の校友会活動を考えれば先ど期のコアメンの様にしかが立場良を説明しろうえで役割を与えて行くことではないかと感じた。自分の前の理論かもしれないが、それが私の改善点です。 ②代表にしかお手伝い役割をこそ →自身的には、自分一人のかたに集いている！期生を始めとした上の年代をキープもこと」です。と言うのも、私が社友会活動に出れない事が多くなってきた、とお考えの方が多いと感じた。 なので、この中代の参加率が極端に減少に繋がれます。そのので、これは今の若い年代に任せる前に私が前らに出来る仕事ではいかと思います。 そして個々をキープする具体的手法は当たり前かもしれませんが「交流を深める事」です。僕らはFBなどでイベントがめこれたど」が名ロけではゆ々来てれません。面接会で、それんを言しろないと来ないつの期例ある。 ちますので、私かいる間に他コアメンに築いて私かいなくても続が作業てくれる環境を作ります。	
「グローバルファシリの環境とチャプター会を知りや環境をちゃんと理解できたこと」 韓国CLMでボードからの今後の方針を聞いたき、僕はチャプター会を増やすことに疑問を持っていました。（個の前でも発言したくらい、笑） その論理は、チャプター会増が、自チャプターや提携から、個別に参CLM0参加率化に繋がるかと言ったらいませんでした。 僕は、グローバルファシリというかを、今の考えたかったえ大切かと、少見ていました。 校友会組織を世界的にはばたいかでいう、この理度の理解でした。 今回のMTGで、校友会はぞの国や地域に来ではみたが、反達共いない、APU卒業生とおいしい人を対象にしているというのが分かったこと。 チャプター会を増やすことが僕のやで意味に意味のあるかに模変でめました。 校友会を世界に広げるために増やしているのではなく、 APU卒業生が世界に広がっていかなこそ、その国に、その地域に、その人の支えなおる校友会組織を作っていいるのだ、と。 この視点の変化が個の中で一番良かった点です。	①個の校友へもっと役割を振る →今は世界の情報ではほとんどの活動へ新く興味的繋げ、以前はどうされ言えば非常に大きい。またチャプター内でそれぞいを話し合っていました。 ②チャプター会活性化へ繋げて行ご欠思います。具体的には１期生を始めとした年上のキープ下あると言えます。 そして個々をキープする具体的手法は当たり前かもしれませんが「交流を深める事」です。僕らはFBなどでイベントがめこれたど」が名ロけではゆ々来てれません。面接会で、それんを言しろないと来ないつの期例ある。 ちますので、私かいる間に他コアメンに築いて私かいなくても続が作業てくれる環境を作ります。	
運営的な時間配分すべての話し合いが好かったこと。前回のノウルでの会議と比べ丸よかったと思います。 各種意見や疑問等に関しなかでもたくさんと思います。 意意に関係をちゃんと話ができたので今後の年間活動展開計画書かたと思いますので、会議の費用対効果は格段で高いと思います。 アイスブレイクなしは、正解だと思いますが、いかがでしょうか？	運営全体 これはチャプターの反省点でもあんですが、 限用内容が複雑にかかったと感じます。僕はチャプター会を増やすことに疑問を持っていました。（個の前でも発言したくらい、笑） その論理は、チャプター会増が、自チャプターや提携から、個別に参CLM0参加率化に繋がるかと言ったらいませんでした。 僕は、グローバルファシリというかを、今の考えたかったえ大切かと、あんる感じて皆で話すおカがAPUらしいかなと思いました。 校友会組織を世界的にはばたいかでいう、この理度の理解でした。 今回のMTGで、校友会はぞの国や地域に来ではみたが、反達共いない、APU卒業生とおいしい人を対象にしているというのが分かったこと。 チャプター会を増やすことが僕のやで意味に意味のあるかに模変でめました。 校友会を世界に広げるために増やしているのではなく、 APU卒業生が世界に広がっていかなこそ、その国に、その地域に、その人の支えなおる校友会組織を作っていいるのだ、と。 この視点の変化が個の中で一番良かった点です。	今回のBLM主程平の名前も聞も覚ろ切ない、議論もでき、ちょうどいい規模感だったと思います。 BLM、構想から実現までここはとボードがすごい！ありがとうございます！ 上きも、今のリーダーセも出ん、ボードが自チャプター内状況を知ていて、良い人切りだと思います。 こんな状況内前は、BLMは全国的だされた校友会ですきるんやないかなと思います。 本当にありがとうございました。 ボードの皆さんも、これからも引き続きよろしくお願いします。
・基本的なことですが、限られた時間で20以上の項目について議論し、議論内容に対して何らかの結果（結論）を出せているいうのは、良かった点であると感じる。あるテーマについて議論する際、最初は多くの出が、結局結論がはっきりない一般時まま終われしまう、ということは日頃のミーティングにおいてもよく、よく起こりえるこて、また"次回に持ち越し"という結果にならない為に、次回までに"誰が何をするでいう点が不明瞭なまま終了してしまう場合には次の議論開始がスムーズにはいかなくなってしまう。 アシシテーター、プレゼンター、タイムキーパー、書記、最終をまとめ時等の役割分担 あいたて成功だったのだと思う所。私個人としては今回、ファシリテーターであった会 長や各チャプターリーダーの迅速な反応から学ぶ点が多々あった。今後の活動に活か していきたい。 ・個人的なことではあが、各チャプターをやむなうて集かすメンバーの関が分ずに余ぶはとても大切い印象である。一つのチャプターに属し、他のチャプターボードについて話をすることはあるが、実際になって話をするおとでは初めましまれる。また、校友会の関が大切だとはわたは、まず最分自身も属して校友向上の関が充分に持つと分大前提であると考える。今後も、校友向上が言いプスなおかよる為関係を築き、より広い関が作れやすいたくと思う。	a ）運営全体 各チャプター内の1について チャプター会1自利の関にて、＂昨年のBLM参加時に認識した課題改善のため、この１年のおよ"取り組んだか→その結果＂という項目を追加しては？どうでしょう、この点を検討すること。 BLM参加 → 各チャプターの反省 → その後の改善への具体的関の取り → 翌年に向けての定着・改善行動 に流れるの認識であるように思い、昨年のBLM参加者様も満ゆることができるのではないかと考える。 b ）自身について ・事前にチャプターリーダーと疑問点を質問しやボートしていただいたりしていたため、初参加ではあったが会議内容は大体理解でき、ただ、ここフェス"自分の意見を発言する"、というが今回は全くできなかった。今後より深く校友会について考え、自分自身として、自チャプターとしての意見を発言できるようにしたい。 ・校友会やBCおいて、自身てまだ活用できていない点が多々あり反省した。HPに掲載されている情報をもっと活用し、校友同士のリンクなどうまく使いたい。	今回の参加、私個人としては、とても意味のある時間であった。 私が校友会先金額サポ（１期生）となったのは、APUのために何かできれば良いう思いもあるが、それ以上に＂人との関わりに恵まれていて頂戴機会を頂く＂という点が大きい。それため、昨年末よりB自チャプターの活動に加わりはじめるようになったものの、通常は代表やその他メンバーの届き合いがかなくなり仕切りてわったが、私としては本当は同時子をていないという分子区国なところである。だが今回BLM に参加することにより、校友会というものについて＂お具体的に学ぶ・考える＂という機会を得た。おそらくこのBLMに参加しないままであったなば、チャプター20校友会の今後やビジョンについて深く考える機会を得ていたかもしれない。また企画サイドの一員としての意識の大きく違っていたかと思。 今回様々なチャプター会組織と成長する中で、＂各チャプターは活動が活発で個性的なのも多く、だからこそいろんな企画ができることにても素晴らしい感じる。だが、それでもお分前に、新しい人が参加するのにはやしハードルが高くなっているのかもしれない＂との指摘を多くいただいた。今の自分も活用しつつ、より多くの校友の届合いと参加していただけるように考えるかつ、改めていくかが考、今後の活動に反映させていけたらと思う。	
■ well-organized agenda & programにて進んだ、当日の議事運営（議事進行） →「話し合うべき事柄」に焦点を絞ったMTGが開催出来たのでは？ ■ 事前によっては、ボードサポートの下、参加者主導でMTGの一部を行えた点 →今後、チャプターリーダー主導のRLMの運営に繋がるのでは？ ■ MTG後、チャプターリーダーズが主導になって、企画をする ＆ 振をとおまめる「具体的かつ建設的な」アクションが生まれたこと →従来のMTGには、「他と同じ呈やられなかったアクションでは？ ■ 参加費をupdiftさせる取り組み（e.g.参加率増） → ・表彰された本人が"今後の1モチベーションUPに繋がる ・表彰された理由を知ることにより、表彰された本人は勿論、参加者はRLMの会議に望まれていることを「自然と」知ることが出来る	＜運営全体＞ ■ 自己紹介の時間は「まめて」取ったが良いのでは？（MTG前参加者への配慮も含めて） ＜自身＞ ■ サブリーダーへの「事前」コーチング（情報共有含む）が「不十分のまま」、会議に参加させた点 ■ サブリーダーズ基本的な「意思疎通が図れていなかった点 ■ 前参加者へのF 基本的な」勉強（自チャプター以外の）	■ CLM in 韓国、RLM in 別府、RLM in 熊本・・・2MTG主置ねる毎に、MTGの質が 格段に」UPしているのを感じます。 ■ 各種資料（特に、資料「CLM後の取り組み」）を拝見して、ボードメンバーが心血注ぎながら「ロジカルに」校友会の活動に、「前日通から」取り組んている様子が見ひってきました。
・議事進行がムースで特に言い争うような議論なく進んだのがよかった。 ・メンバーが、それぞれがなの発言ができるれている感じがはわってきました。 ・個々のチャプターの活動やそれに紐づく国や背景を共有することができた。 ・多様なリーダーの議論ができた。 ・事務局側の動きを共有できた。	＜運営全体＞ ・知らないメンバーが多かったのでネームプレートがあると名前の定着が、やすかったかもしれない ＜自身＞ ・あまり議論に参加できなかった。実際に運営側としてチャプターを回っている立場では今までなかったし、それ以前にも校友会のイベント運営に関わるいうことがなかったので受取に意見をいうことはあまり好まくない立と感じた。議論に参加するためには知識としての共有以外にも、実際にイベントや事業を回して通と経験をとうして意見を言うということが求められているように感じた。会議に参加し、議論を深掘りして発言しうるいたな立ちの場所に対して、貢献に向き合い、校友会のメンバーの思いや望に耳を傾け、効果的では無いがベント運営の方法を模索 し、実行することが大切であるということを学んだ。そのために何を始めていけばいいのかを今後定期的に話し合う場をチャプターメンバーで確保して進めていきたい。 ・定期ミーティングを行い、情報共有、フィロソフィーの共有が必要だと思った。事前にちょこと勉強しておくという方法では、考えた活動を組み 合わせ上での意見もいえることがまない。 ・それぞれの地域の特性をどのようにいかして校友会の活動をしているかが わかって勉強になったのでそれを活かす。 ・自チャプターはあまり活動もしていないと実感した。自チャプターらしい活動のあり方を模索する必要があると思った。 ・現在、自チャプターエリアにどのような人がいるのか把握、と要望の拾い上げをしていくことから始める必要があるとおもった。	2 日間お世話になりました。久しぶりに多くのAPU卒業生とお話ができて刺激的でした。様々な場所で、APUのメンバーとつなげ、活動してる仲間に刺激しました。 自分も自チャプターを拠点にして活動を広げていきたいと思いました。どうもありがとうございました。今後共よろしくお願いいたします。
懸念としてRLCの付き合い方や、予算の取り方について意思共有が図れ、運営上の課題が少しクリアになった。 会議後の広と、ロケーションがもって良かった。 ディスカッションが与えん行えた。	チャプター紹介の限定運技部分は、事前に配布した上で、当日の説明は省略 発言バランスにばらつきあり、仕方ないものの、発言の少ない人に発言を促すことも必要かと。そこから新たな気付きもあるだろう。皆意見に慣れて発言しづらい人もいるだろう。 チャプター内で確認など行えるので、チャプター二との意見が望ましい。	初の全体会議への参加でした。 振かれている場地、規模感などは異なるが、目的意識としては、少なくとも日本国内のチャプターでは共通のものを持てている実感。 チャプター主題とした活動もしてみたかったので、卒業式プロジェクトに参加表明ができ、またモチベーションなども。 また、近隣チャプターの発展とか新しいテーマでも出来たので、自チャプターの発展とともに出来る限り貢献していきたいと強く感じた。
時間配分、休憩の取り方がスムーズだった。 司会進行が良かった。 発言に対して、ただ飲み込むのではなく各自が相槌し意見を出していて良かった。	話を最後まで聞かず訓解が生じている場面があったので、最後まで聞いてから発言というのを徹底したい。	すべてが勉かった。 ディスカッションの場への参加は初めてで、各チャプターのレベルの高さが分かった（圧倒された） もっと資料を読み込んで理解して会議に臨めてきたと 良い会議の見本を見せて貰った気分。自分の意見を言える先越方に、さすがAPUと感じた。
参加者が、発言者に目を組んでいた。 発言そのものを出ますることに、前向きな議論が行われていた。 各チャプターの活動を横断的に知ることができて、参考になった。	ホテルの経療ストも、次スチャプターが知りすると、会場から遠いところの赤テルを取ってしまう人がいなくて良い思う。 環境はランダムなのであれば、心引き合いとは最初から決めておいてほしい。（どこに座る？的な時間が無駄）	初時は遅い2日目でした。 各チャプターの在りた方を見て、自チャプターは、現在のフレンドリーな雰囲気を更に強めていきたいと思った。 チャプターリーダーの思い意識を正面から受けて、良い刺激を受けた 校友会で無ければ出会えない先輩と同じ仕事が出来る熱い機会だった
・テーブルの配置や部屋の狭さが良かった。あがに距離が近いとディスカッション外、ずらい、ちょうどいい感じに狭かったので議論外、やすかった。 ・参加人数もちょうどいい、ウの参加の足などLI以外のメンバーからは前解なりひとてコメントがたらるので、今後も継続、して参加させたい。 ・今回はクション外多く、いい環境で余裕を持たないタイムスケジュールでた。 ・今まで多の校友会組織の会議に参加して、ほど何でいるの中で1番議論が進み、決定事項を生み出せた会議だったのではないだろうか。 ・参加校友の世代も様々でが一範囲 的だった。	・もう少し各チャプターの強みを共有する時間が作れたら良かった思う。例えば自チャプターでは集英やイベント運営の実績があるので、他しかし具体的に共有することもできた。実際にワークショップみたいな形で新しいゲームやや活を手を動かしながら体験したかなどを想定。 ・各チャと直接会分のチャプター直接関連してるが話もあるので、私も自めてチャプターリーダー各人が全体予算や、求一の動きに関味を持ち、日頃から資料等に目を通すべきだと感じた。	・メイン会場が繁華街にあるというメリットを感じた。会場や懇親会への移動が短く、移動に時間をとられなかったのが良かった。
1.自チャプターの交換 活動報告を通して、校友会運営で参考にしたい点や課題を認識、また自チャプターの良さを再認識することができた。 他チャプターでは、小規模のイベントや勉強会企画、旅行や長時間のイベントを組み込むことで、校友主活の密な交流ができている。 他チャプターでは大きなイベントが多く、同窓会のような少ない人数で、他チャプターのように時間や深い交流の機会を設け、他学年の校友主がより交わえるよう仕事した校友主なうえでは、出会いや交流の場を作っていきたい。 auでの集合または、事前決算、拡充メニューの設置など、新たな取り組みも続けていきたい。 また、対面して他のチャプターやボード、オフィスと関わりたこと で、校友会の大きな型が今感じました。これまでは型で聞いていたのですが、様々なかたと 会いして、より一層、他チャプターを身近に感じ、AP変と校友会熱が高まりました。 **2.自主カプター上の問題点** 懇親会で様々な話をと話したかで、「地元熱本に再就職し、昔からの友達は見ついるおれど、 国際的な活動や外上の高志はかからとできない、仕事上になったを、またAPU校友主と関われることが 心 底嬉しい」と、語ってれたことが、とても印象に残った。 校友会の運営やチャプターの自立によって、実際に多くいる校友に出会えて非常に嬉しかった。 今後の校友会やイベント運営や新規チャプターの自立に向けて、モチベーションが上がった。 **3.auとの交流、関連観点の関わりについて** まず自身時や学・芸等学校卒業生として、この接点に関われたことを嬉しい、実際に、校友会の活動や卒業後の進路や取り組みなどが、BLOやJ進学関連のひとつとなっていた。APU在学中には、国内留学生としてLIU-SAPUにおった学生とも友達になった、サークル交流が盛んになり、学生同士で立食飲内で交流を持つ機会も多くなっている。私個人としては、BLUの交流を通じ、APUには ない豊富な校友意を活かしたイベントの開催や、格互理解、更にはAPUに関わったことのある現代球が久々に交流する機会が提供ができればより良い効果があるのではないかと思っている。同属をへの関わりとしては、ただ、ただ楽しむためが多くあると思う、中年人間校も、学生同校も、国際色が濃く、中学の修学旅行がNホーム・スティ2週間できっかり、学生同士の海外交流が多い環境からも、もっとAPUを身近に感じる取り組みが出来たらいいなと、個人的に思う。ただ、今度や新機会と、体制面でいろいろとあると思うので、一度状況や環境の把握をしてから、現状に関わったら何らかの行動もしてみたい、今一度、自校度を思い出す良い機会となった。 **4.会議に参加して** 会議に参加したことで、校友会運営へのモチベーションがより、顔を合わせて交流することの大切さを感じた、またAJへ参加することで、チャプター内の組織力強化	RLMの意義点として新い中くこがいい程に、事前準備や進行など全て参考になることばかりだったので、今後の校友会としての課題を述べたい思う。 ・校友会の認識と広報 会議のやで、校友主（APUや卒業生）からイくと校友会に入っていない」という話を聞くことがあると発言があったが、確かにそういった話を聞くことが多い、今一度、卒業した時点で校友主であり、全ての校友主に校友会のイベントに参加したり、交流を深める機会があることを、知ってもらいたいと思った、現状、イベントの広報や情報提供の手段は、FBやカセッテLINEなど、チャプター単位になっていて、統一されていない、また、その情報を知らない人が新規でアプセスする方法は、ロコユニ大き く開らざるを得ない、大きな仕組量があるわけではないが、もっと近口を広く、必要な校友主にちゃんと情報が届くような仕組みや分ら要だと思う。 まずは、手始めにチャプター単位で他チャプターの紹介をするというのはどうだろう、校友主の転勤や引っ越しに備えて、現在に介助にチャプター内の、定の関係のチャプター自立を、考えているという情報を伝えていきたいと思った。イベントの開催情報を共有するこ と、流動する校友主への対応をとっていたい。また、現在二ズのある自校主に対しては、今年の卒業式での取り組みに期待をしたい、良い関わり初していきたい思う、各チャプターの紹介を行い、認識を深め、卒業した際がっていけるというアピール先、たい、そして、しっかり大事にする各イベント情報の共有をけい、更なる交流の活性化に繋がたい思う。	今回のMTGヨけてなく、日頃のチャプターMTGでも感じていることですが、 リーダーやメンバーのリーダーシップカ、マネジメント力、組織運営力、 イベント時の集客力、企画力・計画力、実行力 など、挙げきれない幅に参考になる点が多いです。 MTG開催の参加者には、異さなからも本当に暖かさです。あが次ございました。 校友会の運営だけでなく、いちメンバーとして 他校でき会ったお友人に関わるたことが良い、勉強になるこだけでて、非常に為になります。 最後になりましたが、この度は素敵な集まで次参加させて頂き、本当にありがとうございました。
（１）校友会の活動に対する理解度が高まった。 （学園の校友会組織の目的・役割・組織体制等基本的情報の共有がとてもよかった） （２）face to face会議による長時間のディスカッションより校友会に対する参画度が高まった。 （３）他チャプターの意見立脚により自チャプターの課題把握、課題解決方法の参考とすることができた。 （４）明確に幹事チャプター（今回は熊本）が、広さか、場所取り、懇親会場所確保等を任せごとで校友との交流の場が持て、有意義だった。	（１）1年半ほど校友会のコアメンバーとして活動してきたが、MTGやイベントに出席する程度の軽い関わり方だったために、今回のRLMのディスカッションが初についていけない時が多々あった。もっと参画度を高めとてこた会議には参加すべきだと感じた。 （２）自チャプターに関しては、校友会活動をより多くの人に伝えることが課題だと感じた。他チャプターでは新卒校友の取り込みができているが、自チャプターは全くと言っていほどできておらず、卒業式後の活動を活用し、参加者の囲い込みを回的たいと感じた。	